

〈JIS照度基準〉

●住宅 (JIS Z9110-1979「照度基準」付表7-1)

照度lx	居間	書斎	子供室 勉強室	応接室 (洋間)	座敷	食堂 台所	寝室	家事室 作業室	浴室 脱衣室	便所	廊下 階段	納戸 物置	玄関 (内側)	門、玄関 (外側)	車庫	庭
2000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1500	○手芸 ○裁縫	—	—	—	—	—	—	○手芸 ○裁縫 ○ミシン	—	—	—	—	—	—	—	—
1000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
750	—	○勉強 ○読書	○勉強 ○読書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500	○読書 ○化粧(10) ○電話(14)	—	—	—	—	○食卓 ○調理台 ○流し台	○読書 ○化粧	○工作	○ひげそり(10) ○化粧(10) ○洗面	—	—	—	○鏡	—	○掃除 ○点検	—
300	○団らん ○娯楽(13)	—	○遊び	○テーブル(12) ○ソファ ○飾りだな	○座卓(12) ○床の間	—	—	○洗たく	—	—	—	—	○くつぬぎ ○飾りだな	—	—	○パーティ ○食事
200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100	—	—	全般	—	—	—	—	全般	全般	—	—	—	全般	—	—	—
75	—	全般	—	—	—	全般	—	—	—	全般	—	—	—	—	—	—
50	全般	—	—	全般	全般	—	—	—	—	—	—	—	○表札・門標 ○郵便受け ○押しボタン	全般	テラス 全般	—
30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○通路	—	—	○通路
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	—	—	—	—	—	—	深夜	—	—	深夜	深夜	—	—	—	—	—

- 注 (10) 主として人物に対する鉛直面照度とする。  
 (12) 全般照明の照度に対して、局部的に数倍明るい場所を作ることにより、室内に明暗の変化を作り、平たんな照明にならないことを目的とする。  
 (13) 軽い読書は娯楽とみなす。  
 (14) 他の場所でもこれに準ずる。

- 備考 1. それぞれの場所の用途に応じて全般照明と局部照明を併用することが望ましい。  
 2. 居間、応接室、寝室については調光を可能にすることが望ましい。

●商店、百貨店、その他 (JIS Z9110-1979「照度基準」付表5)

照度lx	商店の一般 共通事項	日用品店 (雑貨、食品等)	スーパーマーケット (セルフサービス)	大型店(8) (デパート、量販店、割賦店等)	ファッション店 (衣料装身具、眼鏡、時計等)	文化品店 (家電、楽器、書類等)	趣味、レジャー店 (カメラ、手芸、花、コレクション等)	生活別専門店 (日曜大工、育児、料理等)	高級専門店 (貴金属、衣服、芸術品等)
3000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2000	○陳列の最重要点	—	○特別陳列部	○飾窓の重点 ○デモンストレーション ○店内重点陳列	○飾窓の重点	○飾窓の重点 ○店頭陳列	—	—	○飾窓の重点
1500	—	—	—	○案内コーナ ○店内陳列	—	○ステージ商品の重点	—	○飾窓の重点	○店内重点陳列
1000	○重点陳列部 ○レジスタ ○エスカレーターなどの乗降口 ○包装台	○重点陳列	店内全般 (都心の店)	重点階の全般 特卖会場の全般 ○コンサルタントコーナ	○重点陳列 ○デザインコーナ ○着装コーナ	○店内陳列 ○コンサルタントコーナ(売場) 飾窓の全般	○店内陳列の重点 ○モデル実演 飾窓の全般	○デモンストレーション	○一般陳列
750	エレベータホール エスカレーター	○重点部分 ○店頭	店内全般 (郊外の店)	一般階の全般	店内全般 (スペシャル部を除く) ○スペシャル部陳列	店内全般 ○ドラマチックな陳列	○店内一般陳列 ○スペシャル陳列 ○コンサルタントコーナ	店内全般 ○コンサルタントコーナ	○コンサルタントコーナ ○デザインコーナ ○着装コーナ
500	○一般陳列品、商談室	—	—	高層階の全般	—	—	—	—	○接客コーナ
300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
200	応接室	店内全般	—	—	—	—	—	—	—
150	洗面所、便所、 階段、廊下	—	—	—	○スペシャル部の全般	○ドラマチックな 陳列部の全般	—	—	—
100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
75	休憩室、店内全般	—	—	—	—	—	—	—	—

- 注 (8) 大型店などで、売場に業態別の効果を必要とするときは、対応する項を準用する。  
 (9) テスト室などは、調光装置で減光できる事が望ましい。  
 備考 1. 昼間、屋外向き飾窓の重点は1000lx以上が望ましい。  
 2. 重点陳列に対する局部照明の照度は、全般照明の照度の3倍以上にすることが望ましい。

# やさしいあかりの基礎知識

## 照度と用途

### ●運動場、競技場 (JIS Z9110-1979「照度基準」付表12)

照度lx	体操	陸上競技 (トラック フィールド)	水泳	柔道 剣道 フェンシング	相撲 ボクシング レスリング	弓道 アーチェリー		テニス	卓球 バドミントン	バスケット ボール バレーボール	サッカー ラグビー アメリカンフットボール ハンドボール ホッケー	野球		ソフト ボール	スキー	アイススケート ローラースケート		ゴルフ (練習場)	
						屋内	屋外					硬式	軟式			屋内	屋外		
5000																			
3000																			
2000					職業試合														
1500																			
1000	公式競技			公式競技	公式競技			公式競技	公式競技	公式競技							公式競技		
750																			
500	一般競技	公式競技	一般競技	一般競技	一般競技	一般競技ターゲット(18)		一般競技	一般競技	一般競技	公式競技						一般競技	公式競技	
300						レクリエーション ターゲット(18)													
200	集団体操	一般競技		練習	練習	一般競技射場		レクリエーション	レクリエーション		一般競技						レクリエーション	一般競技	フィールド
150							ターゲット(18)												
100			練習 レクリエーション			レクリエーション射場				レクリエーション	レクリエーション						リフト ロープウェイ (18)		レクリエーション
75																			フェアウェイ (18)
50	観客席	練習		観客席	観客席			観客席	観客席	観客席							レクリエーション 外野		観客席
30																			バッティング グラウンド
20		観客席	観客席								観客席								観客席
10																			

注 (18) 鉛直面照度による。

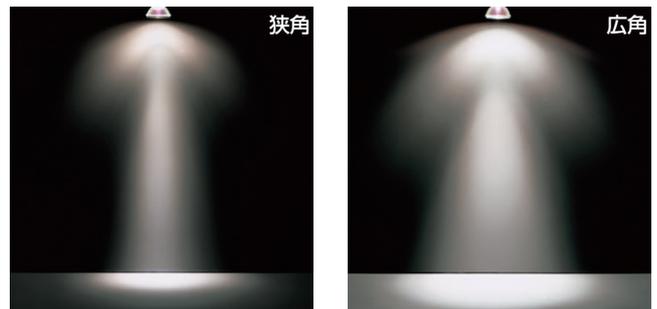
- 備考 1. カラーテレビジョンの撮像には、特に考慮して1500lx以上とすることが望ましい。  
2. 営業設備などで、不特定多数の人を収容するレクリエーションでは、欄中の最高の照度とすること。

### ●工場 (JIS Z9110-1979「照度基準」付表2)

照度lx	場所	作業
3000		
2000	○制御室などの計器盤 及び制御盤	精密機械、電子部品の製造、印刷工場での極めて細かい視作業、例えば、 ○組立a、○検査a、○試験a、○選別a、○設計、○製図
1500		
1000	設計室、製図室	繊維工場での選別、検査、印刷工場での補字、校正、化学工場での分析など 細かい視作業、例えば、 ○組立b、○検査b、○試験b、○選別b
750		
500	制御室	一般の製造工程などでの普通の視作業、例えば、 ○組立c、○検査c、○試験c、○選別c ○包装a、○倉庫内の事務
300		
200	電気室、空調機械室	粗な視作業、例えば、 ○限定された作業、○包装b、○荷造a
150		
100	出入口、廊下、通路 階段、洗面所、便所 作業を伴う倉庫	ごく粗な視作業、例えば、 ○限定された作業、○包装c、○荷造b、c
75		
50	屋内非常階段、倉庫 屋外動力設備	○荷積み、荷降ろし、荷の移動などの作業
30		
20	屋外(通路、構内警備用)	
10		

- 備考 1. 同種作業名について見る対象物及び作業の性質に応じ次の三つに分ける。  
(1) 付表中のaは細かいもの、暗色のもの、対比の弱いもの、特に高価なもの、衛生に関係のある場合、精度の高いことを要求される場合、作業時間の長い場合などを表す。  
(2) 付表中のbは(1)と(3)の中間のものを表す。  
(3) 付表中のcは粗いもの、明色のもの、対比の強いもの、がんじょうなもの、さほど高価でないものを表す。  
2. 危険作業のときは、2倍の照度とする。

## ■ビームの開きとビーム光束



ビームの開きとは、光の広がり程度を表します。すなわち、レフランプやビームランプなど最大光度の1/2(あるいは1/10)に等しい値になる左右2方向の広がり角度をビームの開きといい、ビームの開き内の光の量(光束)をビーム光束といいます。このビームの開きのちがいを利用して照明演出が可能です。例えば、照射物を特に強調したい場合はビームの開きの小さいものを、比較的広い範囲をソフトな光で照射したいときは、ビームの開きの大きい光源を使用します。